



2022年5月10日

各 位

上場会社名 ファイズホールディングス株式会社
 代表者 代表取締役社長 榎屋幸生
 (コード番号 9325)
 問合せ先責任者 取締役財務担当 西村考史
 (TEL 06-6453-0250)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年5月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2022年3月期通期連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	16,000	650	640	390	36.38
今回修正予想(B)	18,045	575	572	368	34.37
増減額(B-A)	2,045	△74	△67	△21	
増減率(%)	12.8	△11.4	△10.6	△5.5	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	12,951	595	584	376	35.14

修正の理由

2022年3月期通期業績期間におきましては、「オペレーションサービス」では、従来からの大手ネット通販会社向けや流通業向けの物流センター運営事業に加え、家電製品・雑貨・事務用品等を扱う物流センターの運営業務などがスタートしました。さらに過去最大規模となる新規プロジェクトが順調に推移し増収に大きく寄与しましたが、利益面においてスタッフ採用費や教育費などの立ち上げ費用が想定以上に増加し、利益計画未達の要因となりました。

「トランスポートサービス」の配車プラットフォーム事業では、新規営業拠点の開設や既存拠点の戦力増強に取り組み、取引社数および成約件数が大幅に拡大いたしました。実運送ではEC関連貨物や日雑品を対象とした拠点間輸送をはじめ、生活必需品の定期個配業務や家電専門店向けEC商品配達などラストワンマイル配送業務の開拓・受託に力を注ぎ増収に寄与した一方、利益面においては燃料費の高騰が利益圧迫の要因となりました。燃料費の動向については引き続き注視し、利益確保に取り組んで参ります。

また、「国際物流サービス事業」におきましては、海外代理店網の整備、国内パートナー企業との協業、新規取引先の開拓などが奏功し、受託件数が拡大いたしました。

上記の結果、売上高において計画比で増加の見込みとなったため、2022年3月期の業績予想を上記の通り上方修正いたします。

以 上